



TOYAMA
UNIVERSITY
HOSPITAL

富山大学附属病院だより

信 頼

特集

がんゲノム医療について～続報～
irAE（免疫関連有害事象）について
がん患者に対する漢方薬治療について
頭皮冷却システム（PAXMAN Scalp Coolingシステム）の導入
消化器外科ロボット手術について
ロボット手術について

食と健康「バランスの良い食事とは」
読むくすり箱「コロナワクチンとインフルエンザワクチン」
病棟紹介「2019-2020年の看護ケアの質評価、
看護QIプログラムにおいてチャンピオン賞を受賞」
連携病院のご案内「かみいち総合病院」
季節のご挨拶
ボランティア／看護助手の募集



富山大学附属病院
ウェブサイト



富山大学附属病院
facebook

かわら版

TOYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

Vol.

143

2021年11月発行

がんゲノム医療について～続報～

3年近く前のかかわら版138号(2019年1月発行)に「がんゲノム医療推進センター開設」についての記事を書かせていただきました。あれから約3年が経過し、改めてがんゲノム医療についてご紹介いたします。



総合がんセンター長
(臨床腫瘍部 教授)
林 龍二

1. がんゲノム医療とは がんの本質をとらえる

ゲノムは細胞の「設計図」とも言われており、細胞の運命を決めているものといえます。ゲノムが正常に機能すれば(図、正常細胞)細胞は必要な数だけ増えて、正常な機能を果たします。一方でがん細胞ではこのゲノムに異常が起こっているために(図、がん細胞)制御が効かず、果てしなく分裂、増殖してしまいます。つまり、ゲノムの異常こそががん細胞の本質ということが出来ます。このゲノム異常を検知するがんゲノム医療は次世代のがん対策として今、大きな注目を集めています。

2. リキッドバイオプシーの開始

がんのゲノム検査に必要ながん細胞を採取することが難しい方もいらっしゃると思います。2021年8月からリキッドバイオプシーという新技術が導入されました。これは採血だけでゲノム検査ができるという、とても便利な技術です。今まで受けたくても受けられなかった方にもゲノム検査への道が開けたといえます。

3. すべての人にゲノム医療を提供

現在の保険適応は「標準治療の無い方」に限られており、がんと診断されたときから検査を受けることができない状況となっています。こうした状況を解消すべく当院では「診断時からゲノム検査を行う」ための先進医療に参加しています。今後、より多くの方がゲノム医療の恩恵にあずかることができると確信しています。

4. がん克服のために

現在、行われているのはがんゲノム医療といっても「ゲノム検査」にすぎません。患者さんや我々が求めているものは優れた検査もさることながら、「がんの克服」です。このためには、ゲノム検査で得られた結果を有効な薬剤治療につなげる必要があります。ところが、そのための抗がん薬がまだまだ開発途上であることも否めない事実です。がんゲノム医療の普及により、多くのゲノムデータが集積することで薬剤開発に拍車がかかることが期待されています。



図. 正常細胞



図. がん細胞

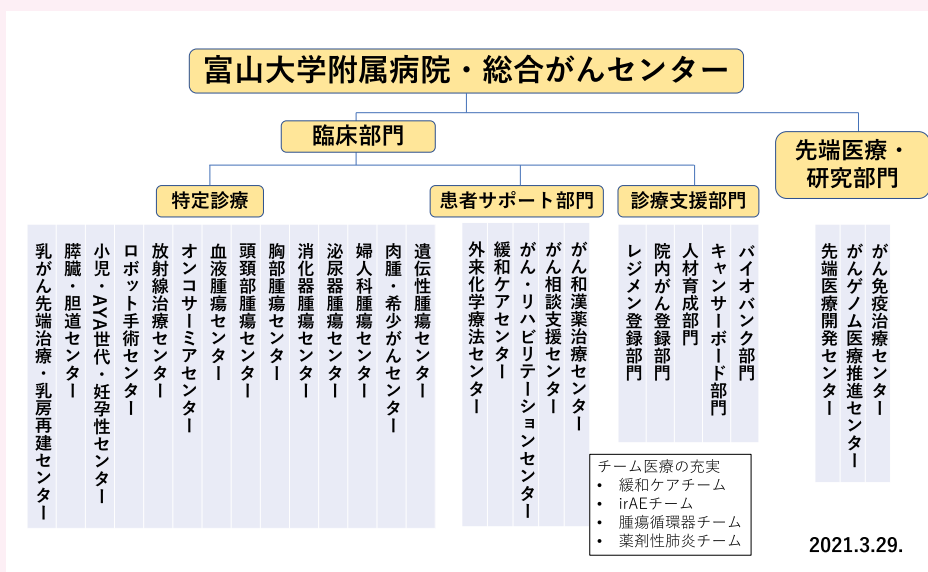
irAE（免疫関連有害事象）について



総合がんセンター
緩和ケアセンター長
(臨床腫瘍部 副部長/助教)
梶浦 新也

irAEとは免疫チェックポイント阻害薬によって起こる有害事象のことです。「有害事象」は「副作用」と厳密には少し異なるのですが、ここでは同じような意味とご理解ください。免疫チェックポイント阻害薬とは、腫瘍に対する治療薬の一種です。いわゆる従来の抗がん剤とは異なり、自身の免疫力（異物を除去する力）を腫瘍へ向けるような働きをします。代表薬にニボルマブ(オプジーボ®)があり、この開発に関わった本庶佑先生が2018年にノーベル賞を受けたことでも有名で、画期的な薬と認識され、様々な腫瘍に使用されてきています。従来の抗がん剤は、直接がん細胞に作用しますが、正常細胞にも作用して副作用を起こします。免疫チェックポイント阻害薬は、自身の免疫力が、がん細胞を認識して攻撃しやすくなるように働きます。正常細胞への影響は少なく、問題が起こらなければ副作用は少なくなります。一方で、免疫に関係するので意外な副作用も生じます。自身の免疫力が正常細胞を攻撃してしまう作用で、これが「irAE」です。「自己免疫疾患」という特殊な病気と同じような症状を起こすことがあり、従来の抗がん剤の副作用とは大きく異なるので、がん治療医による対処が難しい時もありました。富山大学附属病院では前病院長であった齋藤学長の指示

で、このirAEに対応するための「irAEチーム」を県内初で立ち上げました。各分野の専門医で構成され、irAEに専門的に対応できる体制を整えつつ、がん専門薬剤師やがん薬物療法専門医を中心にirAEへの対応方法を決めました。このようにirAEが起きても対応できる体制を整備したことで、免疫チェックポイント阻害薬が安全に投与できる病院となっているのでご安心ください。富山大学附属病院総合がんセンターでは、このようなチーム医療を大切な診療の柱と考えており、irAEチームに加えて腫瘍循環器チーム、薬剤性肺炎チームなども立ち上げ、より安全で安心ながん治療が行える病院となるようにして参ります。



がん患者に対する漢方薬治療について

手術や化学療法などの西洋医学的治療はその原因を追及し、その原因に的をしぼって攻撃し、排除しようとする。それに対して漢方治療はさまざまな原因で崩れた体のバランスを整えることで本来自身が持っている自然治癒力を高め、症状を改善することが目的であり、それぞれに長所・短所がある。私はがん治療における漢方薬の役割は以下の5つであると考えている。

1つ目は、化学療法に伴う副作用に対する支持療法である。食欲低下に六君子湯、口内炎や下痢に半夏瀉心湯、しびれに牛車腎気丸などが広く用いられている。我々は煎じ薬を用いることでさらに様々な副作用に対しても症状軽減を図っている。

2つ目は、術後の体力回復目的である。手術は成功したが、食欲がない、体がだるい、創部の痛みが残っている等々と術後も体調がしっかりと回復しない場合がある。それら術後のQOL（生活の質）低下に対しても漢方薬は有用であり、早期回復に役立つ。

3つ目は、手術や化学療法、放射線治療を行う前のプレコンディショニングである。崩れた体のバランスを漢方薬や生活習慣の改善

がん和漢薬治療センター
センター長
(和漢診療科 特命教授)
貝沼 茂三郎

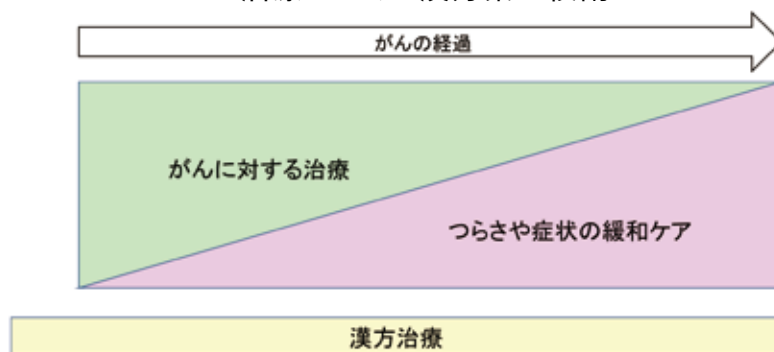


で整えてからがん治療を受けることにより治療効果の向上と副作用の軽減を図り、相乗効果的に治療成績を上げることを目指している。

4つ目は、再発の予防である。がん患者の中には生活習慣の乱れなどが誘因になっていることに気づかないまま同じ生活を繰り返して再発を起こしてしまう場合もある。我々は漢方治療だけでなく、そのバランスを崩すきっかけとなった誘因にも目を向け、改善するための指導を行うことでがんの再発率を減少させることができると考えている。

5つ目は、緩和ケアである。緩和ケアというと、治療が難しくなった後の疼痛緩和というイメージだが、漢方治療は西洋医学的治療と比較して積極的治療と緩和ケアのようなギャップがない。いかなるがんのステージであっても、常にその患者さんの症状軽減を目的としている。漢方治療は最後まであきらめないのが真髄である。

がん治療における漢方薬の役割



頭皮冷却システム (PAXMAN Scalp Coolingシステム) の導入

令和3年3月より、乳がん先端治療・乳房再建センターに化学療法（抗がん剤治療）による脱毛を予防する頭皮冷却システム（PAXMAN Scalp Cooling システム）を県内で初めて導入いたしました。乳がんの治療では手術前後に抗がん剤治療を要する方が約3割程度おられます。抗がん剤の副作用として苦痛度のトップが脱毛です。嘔吐や発熱は薬などの補助療法でかなり抑えることができるようになりましたが、脱毛は抑えることができない副作用の1つで、乳がん治療として化学療法を行うと、ほぼ100%脱毛が発生し、多くの方がウィッグを用いることとなります。また、治療後2年以上たっても頭髪が回復せず、引き続きウィッグを利用しなければならないケースも15%程度あることがわかっています。そのため脱毛が嫌で必要な抗がん剤の治療を避ける患者様もおられます。

当センターでは少しでも化学療法時の脱毛を抑えるためにPAXMAN Scalp Cooling システムを導入いたしました。このシステムを使用することにより約3割程度の患者様がウィッグ不要となり、また脱毛が発生しウィッグを必要とする場合でも早期にウィッグ離脱が可能になるとされています。

PAXMAN Scalp Cooling システムの特徴

抗がん剤投与前にクーリングキャップを装着して頭皮全体を冷却します。頭皮冷却によって毛細血管が収縮するため、抗がん剤が毛髪に届きにくくなり脱毛が抑えられます。また、冷却によって頭の毛母細胞の代謝が

富山大学附属病院
乳がん先端治療・乳房再建センター
副センター長
松井 恒志



低下することで抗がん剤による細胞障害が减弱すると考えられています。

本システムは外来化学療法センターで行い、使用方法は抗がん剤の投与前30分から投与終了後90分まで装着します。医療サービスとして提供し、使用料金は保険診療外（自費）になります。個人で使用する冷却キャップが約8万円、機器使用料が1回につき約1万円かかります。

乳がんは40代がピークであり化学療法中や治療後の脱毛は患者様のQOLや治療意欲を著しく低下させますので、このシステムで少しでも脱毛を予防しQOLが改善することを期待しております。



PAXMAN Scalp Cooling システム

消化器外科ロボット手術について

消化器外科領域のロボット支援下手術は2018年の直腸切除術に対する保険収載以降、急速に拡大しています。当科では2018年6月に第1例目のロボット支援下直腸切除術を施行後、各消化器外科領域のロボット支援下手術を導入してきました。2020年にはロボット支援下食道切除、北信越ブロックで初となるロボット支援下膵切除の導入を行いました。2021年には北陸含めた日本海側で初めてのロボット支援下肝切除手術も導入、さらにロボット支援下胃切除も導入。ほぼすべての消化器外科領域のロボット手術を網羅し、現在まで合計124例（2021年9月30日時点）の手術を施行しています。現在当科では7名のロボット支援下手術の術者資格を持つ医師が在籍しており、その内3名がプロクター（ロボット支援下手術の指導者）です。また、ロボット支援下手術時に欠かせない、ロボットアームと患者間の連結や道具の交換を行う助手資格を持つ医師が15名以上在籍し、科一丸となって日々手術を行っています。

ロボット支援下手術とは腹腔鏡手術をさらに発展させた術式であり、高解像度3D映像を見ながら、繊細な動きを実現できるロボットアームを操作し、より安全で体への負担が少ない手術を実現しています。ロボット支援下手術は開腹手術に比べ、傷が小さく痛みが少ない手術であり、従来の腹腔鏡下手術に比べてより正確で、安全な手術操作が可能となります。

最近では、2021年9月16日に北信越ブロックでは初となるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術を導入しました。この手術は3Dの視野

富山大学
集中治療部
渡辺 徹



で多関節アームを駆使して手術操作を行うため、腹腔鏡操作に比して手術操作が行いやすく、ヘルニア部位を抑えるためのメッシュを固定する際に、タッカーによるネジ固定を使用せずに修復可能であるため、ヘルニア部の術後の痛み軽減につながり早期の社会復帰が期待できます。非常に有用性がある考えられており、今後普及していくと考えられる術式です。

すべての疾患でロボット手術が可能なのわけではありませんが、今後も消化器外科各領域の低侵襲手術、安全な手術の普及にむけてロボット支援下手術に取り組み、患者様のからだに優しい医療を提供して参ります。

当科のロボット支援下手術件数



ロボット手術について

内視鏡下手術用ロボット da Vinci（ダ・ヴィンチ）を用いた手術は、低侵襲性と精密性を両立した画期的な手術です。医師の目となる内視鏡や、ロボットアームの先端に取り付けた指先同様の動きをする鉗子が、トロカー（内視鏡用ポート）を通じて患者さんの体内に入り、医師は画面に映し出される 3D 画像を見ながら、鉗子を自分の手のように動かして手術を行います。患部の様子は立体的に捉えられ、先端の動きは大変緻密で、人間の関節に近い、細かい動きを行うことができます。ダ・ヴィンチ手術は手術の傷を大きくしないため、痛みが軽い、手術後の回復が早い、からだに大きな傷あとが残らない、などのメリットがあるだけでなく、従来の内視鏡手術では難しかった手技も行うことができます。

当院では 2016 年より前立腺がん、2017 年より腎臓がん、2019 年からは膀胱がん、肺がん、縦隔腫瘍、結腸・直腸がんに対するダ・ヴィンチ手術を開始し、順調に運用してきました。2020 年 8 月からは、ダ・ヴィンチ専用手術室が増設され、多くの患者さんにこの手術を受けていただける体制になりました。現在は表にあるようなさまざまな領域の手術を行ってお



ロボット手術センター長
(泌尿器科教授)
北村 寛

り、手術の種類・件数ともに全国トップクラスになっています。

ダ・ヴィンチ手術を予定通りに実施するために、さまざまなスタッフが活躍しています。中でもダ・ヴィンチ本体を起動し、確実に作動させ、安全に手術を完遂するために、臨床工学技士が欠かせません。日頃から機器をしっかりメンテナンスしているため、当院では機械トラブルによる予定手術の中止や作動中の停止は、今までに一件もありません。また看護師はダ・ヴィンチに装着する手術器械の準備だけでなく、患者さんの体位を常時確認し、無理な力がかかっていないかどうかをチェックします。さらに麻酔科医は手術中の全身麻酔と呼吸、循環動態を中心とした全身管理を行います。このように、さまざまなスタッフの働きがあってこそ、手術を安全確実に行うことができるのです。チームワークの良さも当院の強みです。

富山大学附属病院におけるロボット手術の歩み

対象疾患	診療科	開始年	特長
前立腺がん	泌尿器科	2016年	富山県第一例目のロボット手術。症例数最多。
腎がん	泌尿器科	2017年	国内トップクラスの症例数。腎温存率100%。
肺がん・縦隔腫瘍	第一外科	2018年	保険収載前から国内で先駆けて実施。
膀胱がん	泌尿器科	2018年	完全腹腔内尿路再建術を実施。
直腸がん	第二外科	2018年	県内最速導入。肛門温存率上昇。合併症軽減。
腎盂尿管移行部狭窄	泌尿器科	2019年	保険収載と同時に導入。
骨盤臓器脱（膀胱瘤）	泌尿器科	2019年	保険収載と同時に導入。
食道がん	第二外科	2020年	北陸で唯一の実施設。
膵がん	第二外科	2020年	中日本で唯一の実施設。
肝臓がん	第二外科	2021年	北信越・日本海側で初の実施。
鼠径ヘルニア	第二外科	2021年	保険収載前から実施（北陸で初）
胃がん	第二外科	2021年	消化器外科全領域でロボット手術が可能となる。



ロボット手術センターのチーム



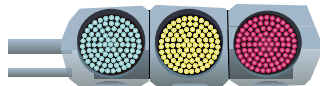
バランスの良い食事とは

栄養管理室 室長 甲村 亮二

普段何気なく食べている食事でも、よく「バランスの良い食指を摂りましょう」と言われることがあります。バランスの良い食事は毎食に黄色、赤色、緑色の食品を摂ることです。



- **主要なエネルギー源**
・米飯、粉もの(パン、麺類など)芋類
- **からだをつくる**
・肉、魚介類、卵、大豆食品、乳・乳製品
- **からだの機能を調整する**
・野菜、海藻、きのこ、こんにゃく、(果物類)



信号機の色を心がけて

食事を摂るバランスは外食時にも心掛けたいものです。外食の特徴としては3多1少に代表されま。積極的に小鉢やサラダなどの野菜類を追加するなどして、バランスの良い食事を摂るよう心掛けましょう。

外食の特徴 (3多1少)

分量・油・塩分が多い

野菜が少ない

焼き肉 ●



揚げ物 ● ●



飲茶 ● ●



ピザ ● ●



寿司 ● ●



チャーハン ● ●



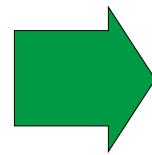
カレー ● ●



パスタ ● ●



追加



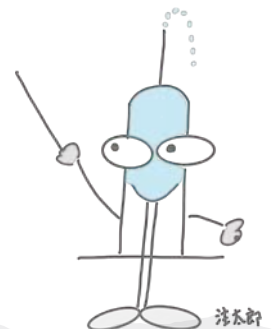
コロナワクチンとインフルエンザワクチン

薬剤部 副部長 小野 敦央

昨年は新型コロナウイルス感染予防策が功を奏したのか、インフルエンザウイルス感染症が蔓延することはありませんでした。これは国内だけでなく世界的にも同様な状況でした。現在の状況が続けば今シーズンもインフルエンザは蔓延しない可能性が考えられます。しかし、新型コロナ感染症が収まるにつれて、感染対策の緩みが発生し、インフルエンザ感染症の増加が懸念されます。

海外では新型コロナウイルスワクチンとイ

ンフルエンザワクチンを同時に接種しているところがありますが、現時点で国内では原則として、新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に接種できません。新型コロナワクチンとその他のワクチンは、互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。



清水社

2019-2020年の看護ケアの質評価、 看護 QI プログラムにおいてチャンピオン賞を受賞

周産母子センター NICU は、地域周産期母子医療センターとして地域の産科施設からハイリスク新生児を受け入れています。定期的に産科・MFICU と情報交換を行い、いつでも緊急入院に対応できるように受け入れ体制を整えています。

早産児や低出生体重児、外科的治療を要する児など、急性期管理を中心とした看護を実践しています。対象となる患者様は言葉で訴えることができない新生児であるため、わずかな状態の変化が急変や重症化につながることもあり、些細な変化も見逃さないよう全身状態の観察が重要です。また治療に伴う苦痛やストレスを最小限に抑えながら、できるだけ胎内に近い穏やかな環境に整え、赤ちゃんの反応を観察しながらより良い成長・発達を促進するためのケア（ディベロップメンタルケア）を心掛けています。さらに、予期せぬ入院は赤ちゃん自身また御家族にとっても危機的な体験であり、いつも傍に寄り添うことを大切にしています。そして早期からの母乳育児支援や、御家族と一緒に赤ちゃんのケアをしていくことで愛着形成を支援し、急性期から赤ちゃんと御家族を中心としたファミリーセンタードケアに努めています。

これまで、医師、看護師、助産師、臨床心理士、理学療法士、小児退院支援専従看護師、メディカルソーシャルワーカーなど様々な職種がチームとなって連携を図りながら、赤ちゃんの成長と退院に向けた準備をサポートしてきました。2020 年からは看護師のみの病棟活動チームから多職種も加わった病棟活動チームとして発展させ、より多職種と協働したケアに力を入れてきました。このような取り組みが患者満足度において満点の評価を得たことに繋がり、看護ケアが赤ちゃん



とご家族から高く評価され今回の看護 QI プログラムでの評価に繋がったのだと思います。

今後も、赤ちゃんの成長を見守り、家族に寄り添った丁寧な看護を目指していきたいと思っています。

当院は、まちのシンボルである北アルプスの霊峰「劔岳（標高2,999メートル）」のふもとにあり、活気と存在感あふれるまちづくりを支え、皆様の健康を守り続けています。



かみいち総合病院

KAMIICHI GENERAL HOSPITAL

中新川郡上市町は、北アルプスの霊峰「劔岳」のふもとにあり、豊かな自然に囲まれた人口約2万人の町です。近年では、町出身の細田守監督の映画『おおかみこどもの雨と雪』の舞台にもなりました。中新川郡唯一の公立病院である当院は、「住民が安心して地域で暮らし続けるための医療の砦として私たちの病院が存在する」を基本理念に掲げ、日々地域の皆様のために診療を行っています。

平成 25 年に回復期リハビリテーション病棟を開設し、平成 28 年には現在の病床数に再編、令和 2 年には地域包括ケア病棟の開設を行いました。また、中新川郡で広く在宅医療を担うための在宅医療連携館も開設し、治す医療（急性期・亜急性期）から支える医療（回復期）まで、切れ目のない「治し支える医療」を、いっそう地域の皆様に提供できるようになりました。

また、各病院の卒後臨床研修プログラムや専門研修プログラム等に基づいて、これまでもたくさんの医学生、研修医、専攻医が研修を行っており、

地域医療の実践を積んでいます。

富山大学附属病院からは、様々な診療科の医師が派遣されており、また、高度な手術が必要な場合をはじめとした連携体制も整っています。

さらに令和 3 年 4 月には、寄附講座「上市・地域医療支援学講座」や富山大学附属病院に設立された乳がん先端治療・乳房再建センターの中継地点として「乳がん先端治療・乳房再建サテライトセンター」が開設されました。これらにより、医師の確保や大学病院で行われている検査や診察・治療を当院でも受けることができるようになるなど、診療体制がいっそう充実しました。

最後に、当院は今年開院 70 周年を迎えました。地域の皆様のご要望・ご期待にお応えできるように、地域に必要不可欠な地域密着型の病院、規模は小さくてもきらりと光り輝く病院として、病院全職員が一丸となって尽力いたします。

今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



〔病院名〕 かみいち総合病院
 〔院長〕 浦風 雅春
 〔休診日〕 土、日、祝日、年末年始
 〔所在地〕 富山県中新川郡上市町法音寺51番地
 TEL.076-472-1212 FAX.076-472-1213

〔診療科〕 内科、外科、乳腺外科、消化器外科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、神経精神科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、血管外科、リハビリテーション科、病理診断科
 〔病床〕 一般病床148床 精神科病床51床



ジェンダーセンターを設立しました

病院長 林 篤志

皆さん こんにちは。

新型コロナウイルスのワクチン接種が国民の6割で終了し、10月に入り急速に感染が落ち着いてきました。最近の感染者数の減少に皆さんにもかなり安心が広がっているのではないかと思います。

さて、当院は10月1日付でジェンダーセンター

を立ち上げました。これは性同一性障害などに苦しむ患者さんが外科治療などを受けられるように、形成再建外科美容外科の佐武教授が中心となり、精神科、産婦人科、泌尿器科など大学病院ならではの専門の先生方が協力して運営するセンターです。個性をもちながら皆がイキイキと生きていける時代にしていくために当院もできる限り協力したいと思っています。どうぞよろしく願います。



患者さんへのサービス向上を目指して

副病院長 川崎 宏

みなさん、はじめまして。4月に病院事務部担当として着任し、日々、病院長等から指導、助言を受け、患者さん目線で業務に取り組んでいます。

今年の夏は東京オリ・パラが開催され、県内出身者も活躍し元気と勇気を与えて頂きました。他方で新型コロナは8月に第5派が到来し、県内で

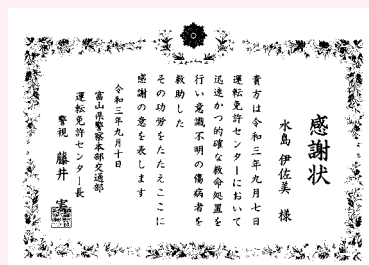
も過去最多の感染者数となり厳しい状況でした。本院では感染者受入れのみならず、他府県への看護師派遣にも取り組んできました。また、現在、最も重要な課題の1つである医師の働き方改革への対応に病院長のリーダーシップのもと取り組んでいます。

病院事務部は各部門と連携し、地域医療の最後の砦として、県内唯一の特定機能病院の運営の一翼を担い、業務改善を図るとともに患者さんへのサービスのより一層の向上に努めて参ります。

富山県警本部交通部運転免許センターより感謝状をいただきました

令和3年9月7日（火）に運転免許センターにおいて、意識不明で倒れた傷病者に対し、夏季休暇をとり運転免許証の更新に訪れていた第一内科の医師の水島伊佐美医師が同センターの呼びかけに応じ、AEDの取り付け等の初期対応にあ

たりました。その後、傷病者は済生会富山病院に搬送され、意識が戻り無事に退院されました。令和3年9月10日（金）、水島医師は、その功労をたたえられ、富山県警本部交通部運転免許センター長から感謝状をいただきました。



編集後記

AI（人工知能）と聞いてどんなことを想像しますか。便利である、恐怖を感じる、様々な想いがあると思います。医療の分野にもAI技術が利用されるようになってきました。AIが病気を診断してAIが手術をすることはありません

が、近い将来はそうなっているかもしれません。すでにAIは身近なところにあつて知らず知らずその恩恵を受けています。ことしの秋は「ちいさなAI」を見つけてみてはいかがでしょうか。

広報委員 藤浪 斗

病院ボランティア/看護助手を募集しています

富山大学附属病院では、患者さまへの診察/看護をサポートして下さる素敵なボランティア 及び看護助手(パート)を募集しています



病院ボランティア

【活動日及び時間】

- ・月曜日から金曜日で外来診療日
- ・8時30分から15時までの間で希望する時間帯

【募集対象】

- ・18歳以上の方
- ・プライバシーを守れる方
- ・心身ともに健康な方
- ・手話、外国語通訳ができれば、なお可

【活動内容】

- ・外来ホールで受付の案内
- ・病院内の案内
- ・車椅子の介助
- ・自動再来受付機の操作案内

【その他】

- ・費用は病院が負担します。
- ・ボランティア保険に加入していただきます。
- ・健康診断を受けていただきます。
- ・インフルエンザ予防接種、抗体価検査を受けていただきます。
- ・活動前にオリエンテーションを行います。
- ・活動中は貸与する被服等を着用し、ネームプレートを付けてください。
- ・5%追加でチャージできる病院サービス(コンビニなど)利用カードを発行いたします。

【お申込み・お問合せ先】

富山大学 附属病院 医事課 TEL:076-434-7080 FAX:076-434-5117
e-mail:hospital@med.u-toyama.ac.jp

看護助手(パート)

- 【募集対象】 病棟における看護業務の補助
- 【勤務時間】 8:00~21:00のうち、1日2時間から6時間の勤務 ※週休2日
- 【賃金】 時給1,030円(夜勤務に対して手当を支給(1勤務に対して720円))
- 【採用時期】 随時
- 【試験日】 随時
- 【提出書類】 履歴書(写真添付) 郵送は簡易書留とし、「看護助手応募書類 在中」と朱書きしてください
- 【提出先】 〒930-0194 富山県富山市杉谷2630番地
富山大学「医薬系総務 人事・職員支援チーム」宛

